

## 山陽マルナカの東日本大震災復興支援活動と 平成30年7月豪雨で被災した真備店復興パネル展のお知らせ

株式会社山陽マルナカ（本社：岡山県岡山市南区／代表取締役社長：宮宇地 剛）は、東日本大震災復興支援活動と平成30年7月豪雨で被災した真備店の復興パネル展を、山陽マルナカ下中野店にて開催いたします。

イオンは、「地域社会に貢献する」という経営理念のもと、2011年の東日本大震災被災地の復旧と復興に向けてさまざまな支援活動を進めてまいりました。当社では、2016年12月から福島県浪江町（なみえまち）を支援しており、地震・津波被害と放射能の問題から福島県内外へ避難を余儀なくされた浪江町の皆さんのコミュニティ再生と「町残し」について、遠方地から出来る募金活動やボランティア派遣など、継続的な支援に取り組んでまいりました。

2018年7月には、西日本豪雨により、山陽マルナカ真備店が甚大な浸水被害に遭い、やむなく閉店・解体することとなりましたが、店舗を再築し、2019年11月にリニューアルオープンいたしました。

当社が継続してきた東北の支援活動により、浪江町と真備という被災地同士の交流も生まれ、距離は離れていても、それぞれが故郷の復興に向けて心を寄せ合っています。今回は、当社の東日本大震災復興支援活動と西日本豪雨の被災から復興した真備店について、一人でも多くのお客さまに知っていただきたく、このパネル展を企画いたしました。ご来店の際にはぜひご高覧くださいませよう、ご案内申し上げます。

1. 日 時：2020年8月23日（日）～9月6日（日）
2. 場 所：山陽マルナカ下中野店 2階屋上駐車場出入口  
岡山県岡山市北区下中野374-1
3. 内 容：（1）福島県浪江町に対する東日本大震災復興支援活動  
（2）平成30年7月豪雨における山陽マルナカ真備店の被災と復興  
（3）災害支援活動でつながる地域の絆

■福島県浪江町とは

福島県浜通り（沿岸部）の北部に位置し、双葉郡に属します。2011年3月11日の東日本大震災での東京電力福島第一原子力発電所の事故のため、浪江町全域の住民が避難を余儀なくされ、21,000人を超える全町民は福島県内外に散り散りになりました。震災から6年経った2017年3月31日には、ようやく一部地域の避難指示が解除され、一部地域での居住ができるようになりましたが、現在も多くの町民が福島県内外での避難生活を余儀なくされています。

このような状況下、イオンは「地域社会に貢献する」という経営理念のもと、2019年7月14日に、町内で事故後初のスーパーマーケットとなる「イオン浪江店」を開店するなど、復興を浪江町と共に進めております。

■山陽マルナカ真備店（岡山県倉敷市真備町）

1988年3月に開店、2001年に現在の敷地に移転し、延べ30年にわたり、たくさんのお客さまにご愛顧いただいておりますが、2018年7月の西日本豪雨災害において被災し、やむなく閉店いたしました。以来1年4ヶ月、お客さまには大変ご不便をお掛けいたしました。建物を再築し、2019年11月13日にリニューアルオープンいたしました。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社山陽マルナカ 総務部 白川

TEL:086-265-1111